

エッグスマートポリシーとは

採卵鶏のケージフリーポリシーを企業として持つことは、アニマルウェルフェアを大きく推進する取り組みです。しかし、一人あたり卵年間337個(国際鶏卵委員会)を消費する日本において、また飼育方法の法規制はハードルの高い日本において、ケージフリー化をすすめるだけでは取り残される鶏たちが出てくると私達は予測しています。

エシカルで持続可能な社会を実現するために必要なことは、よりエシカルなもの(平飼いや放牧)を、大量消費しないシステム変えるという考え方です。

卵の使用量を減らし、又は卵を使わないでおいしい商品を作ることは、日本全体のケージフリー化を容易にし、アニマルウェルフェアに大きく貢献するものです。

ポリシーには以下の情報を明確にする必要があります。

エッグスマートポリシーはブランドごと、商品ごと、または企業ごと、支店や店舗ごとに、規定することができます。

- ❑ 適用される範囲(ブランド、商品、企業、支店、店舗など)
- ❑ エッグスマートの内容(適用される範囲から卵を減らす量の具体的な目標(例:商品Aをエッグフリーにする 例:商品Bに使用される卵の量を3分の1にする など))
- ❑ エッグスマートが完了する予定年月日
- ❑ 上記の内容を、①一般の消費者が容易にアクセスできる場に公表すること(企業のウェブサイトへの掲載を推奨)、または②アニマルライツセンターに対しエッグスマートポリシーを採用することを回答する(公表させていただくことが前提となります)こと。③メディアにむけて公表すること。

グローバル企業の場合は以下も明確にする必要があります。

- ❑ 進捗状況に関する年次報告を行う旨の約束
- ❑ 他の言語での公開の約束

■エッグスマートポリシーの例文

企業として卵フリーに変える

「当社は、全社で、2025年末までに、当社で販売する全ての製品をエッグフリーに切り替えることを約束します。また、エッグスマートポリシーを当社が展開する国々の主要言語に翻訳し、毎年進捗状況を公開します。」

ブランドAの卵の使用量を削減する

「当社のブランドAは、アニマルウェルフェアに配慮し、2025年末までに、ブランドAの製品に含まれる卵を、2020年現在の2分の1に削減します。当スマートエッグポリシーの進捗状況を毎年公開します。」

商品Aに使用される卵の量を削減し、使用する卵をケージフリーに変える

「当社が展開する商品Aは、2025年末までに、卵の含有量を3分の2に削減し、使用する卵をケージフリーに切り替えることを約束します。また、当エッグスマートポリシーとケージフリーポリシーの進捗状況を毎年公開します。」

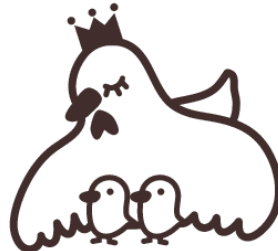
■エッグスマートのマーク

エッグスマートを示すマークの表示は必須ではありません。しかし、エッグスマートポリシーを持つ企業は、以下のアニマルライツセンターのエッグスマートマークをご自由にお使いいただくことができます。カラーを自由に変更いただいて構いません。



Egg Smart
エッグスマート

①



Egg Smart
エッグスマート

②

ダウンロード: PDF <https://animalwelfare.asia/eggsmart/eggsmartlogo.pdf>

①PNG <https://animalwelfare.asia/eggsmart/eggsmart1.png>

②PNG <https://animalwelfare.asia/eggsmart/eggsmart2.png>

認定NPO法人アニマルライツセンター

<https://arci.org>

150-0042

東京都渋谷区宇田川町12-3ニュー渋谷コーポラス1009

TEL:03-3770-0720

FAX:03-4540-4049